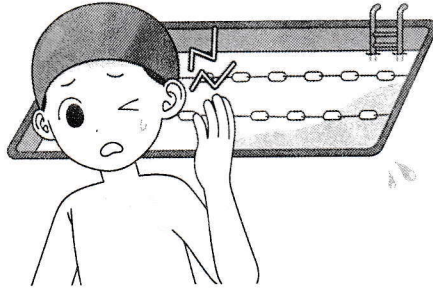


健康診断、その後は・・・？

本渡中学校の健康診断は、3年生の内科検診、1年生の耳鼻科検診を残し、ほとんどが終了しています。健康診断が終わり次第順番に結果を配付しているところです。中には、治療勧告書をもたらう人もおられるかもしれません。「今はたいしたことないし大丈夫」と思うかもしれませんが、放置してしまうと思わぬ病気などにつながってしまうこともあります。

Aさんの場合

耳垢がたまって耳の穴をふさいでしまう「**耳垢栓塞**」の診断、治療勧告書がもらいました。でも耳に違和感がなかったため、病院には行きませんでした。しかし夏になってプールの授業を受けると、耳が痛くなってしまいました。

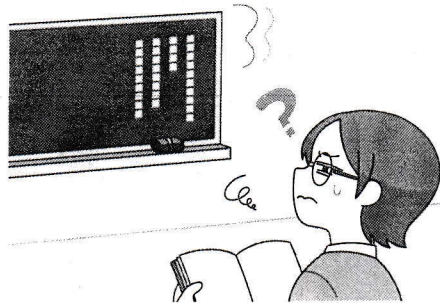


これは… 細菌感染を起こし耳が痛くなる「**外耳炎**」。溜まった耳垢が水にぬれて膨張したことが原因です。自分で耳掃除すると悪化する恐れがあるので、早めに、少なくともプールの前に受診しましょう。

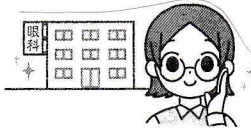


Bさんの場合

視力検査の結果、**メガネの度が合っておらず**C判定。でも部活が忙しくて、そのメガネを使い続けました。その結果、黒板が見えにくいため授業に集中できない状況が続き、成績が下がりはじめました。



度が合わない メガネだと、目が疲れやすく、集中力や判断力の低下を招きます。頭痛や吐き気を感じる「**眼精疲労**」につながることも。また、視力がさらに低下する原因にもなります。これは度が合うメガネにすれば防げます。学校の検査は学校生活に支障がないかを調べるものなので、たとえばB判定でも眼科を受診しましょう。



Cさんの場合

「(鼻の穴の周囲にある空洞に炎症が起こり、鼻水や鼻づまりの症状がある)**副鼻腔炎**の疑いあり」と診断。でも「風邪が長引いているだけだ」と思い、病院には行きませんでした。しかし、症状はなかなか治らず、次第に頭痛や倦怠感を覚えるようになりました。



これは… 鼻に膿がたまってしまいう「**慢性副鼻腔炎**」。ひどい場合は手術が必要です。「**急性副鼻腔炎**」であれば約70%が1～2週間で完治しますが、慢性になると病院での治療や薬の服用を3カ月以上は続ける必要があるため、早めに受診しましょう。



どれも早く受診すれば、悪化しなかったケースです。検診結果は今の体に違和感がなくても、今後の病気になる可能性を教えてください。受診勧告書もらった際には、早めに受診しましょう。

また、健康診断は、生活習慣を見直すチャンスです。結果が悪かった人は、自分の生活を振り返り出来ることから改善してみましょう。良かった人も、なぜなのかを考え今の生活を継続させましょう。